

## おわりに

環境・資源・エネルギーは、人が生きていくための必須要件ですから、多くの方の関心があります。歴史的な潮流としては、1970年代の後半から新興国の経済成長にともなって資源の消費量が増大し、環境負荷が大きくなりました。1990年代以降は地球規模の環境問題が顕在化し、誰もが世界的な視点で環境とエネルギーの問題を理解し、行動する姿勢が求められるようになりました。

一方、主にメディアを通じて得られる環境・資源・エネルギー分野の情報は限られており、総合的な判断には不十分です。多くの解説書も市販されていますが、専門性が高ければ範囲が限定されていて網羅性は期待できません。逆に範囲を広げれば基礎的な水準に止まり、ビジネスマン・エンジニア・教育関係者が満足できる水準から遠いのが現状ではないでしょうか。求められるのは網羅性を満たしつつ技術的な裏付けを備え、総合的な判断に寄与する体系的な知識です。本書はこのような意図で執筆した解説書で、専門書というよりは読みやすい平易な教養書を目指しました。なお、本書で採用した環境問題の分類と環境対策の構成は、筆者が化学工学便覧（改訂7版）に掲載した「環境化学工学」に準拠しています。本書が環境とエネルギー分野に関心のある社会人や教育関係者に広く役立つことを期待しています。

2021年春、環境・エネルギー総覧を脱稿して。 松村 眞